



K1 Bluetooth メカニカルキーボード

付属品：

K1 Bluetooth メカニカルキーボード * 1

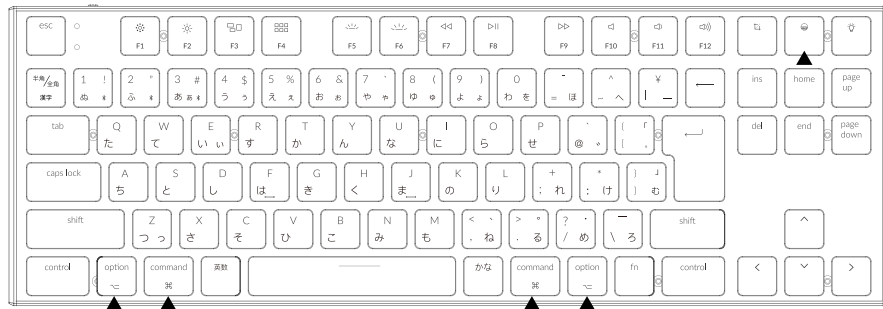
Type-C Cable *1

パッケージ *1

ユーザーガイド *1

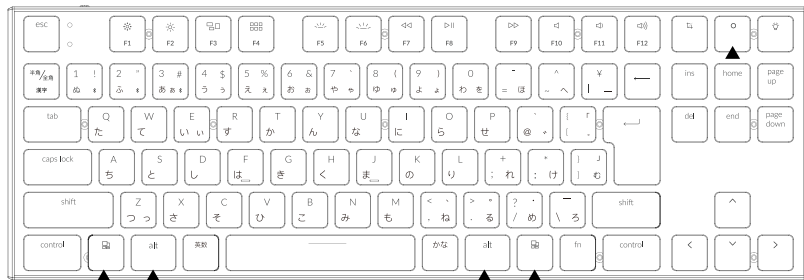
87 キーキーボード仕様書:

Mac



Windows をお使いの方は、付属された Windows 用キーキャップと交換してお使いください。

Windows



”マルチメディアキー数：12

本体材質：アルミ

キーキャップ材質：ABS

バックライト：RGB/ ホワイト

バッテリー：2000mAh リチウムイオン充電式バッテリー

作業時間：消灯使用 2 ～ 4 週間（使用状況によって異なります）

/RGB 使用 8 ～ 40 時間（輝度と使用状況によって異なります）

充電時間：約 2 時間（USB 3.0）

充電ポート：USB Type-C

モード：Bluetooth/ 有線”

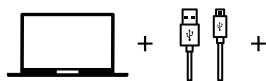
1 Bluetooth接続



Fnキー + 1 を3秒間押してK1-keyboard
というデバイスを追加してください



2 ケーブル接続



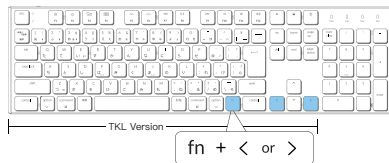
ボタンをケーブルに切り
替えてください。



3 ライトのモード切替

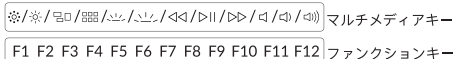


RGBバージョンの場合はFn+右矢印を押してください/
色変更をする時は左矢印を押してください。



4 ファンクションキーとマルチメディアキーの切り替え (F1-F12)

Windowsの場合はFn+X+Lを4秒間押して切り替えます。



MACの場合: 「システム設定」→「キーボード」を選択し、機能キーを有効にしてください。
F5 & F6を使用するにはFn+K+Cを三秒間押し、同じショートカットを使用して切り替えます。



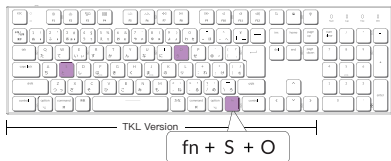
5 自動スリープモードを無効にする

キーボードは、バッテリーを節約するために待機状態で10分間過ぎると自動スリープモードになります



Fn+S+Oを3秒間押すと自動スリープモードを無効にできます。

(自動スリープモードを起動したい場合はFn+S+Oをもう一度3秒間押してください。)



6 Siri / cortanaを有効にする

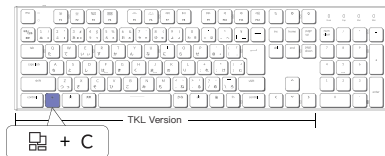
MAC siriの場合: [システム環境設定]→[siri]→[Fn (function) space]を選択し、オプションを押してください。

*siriキーはMAC OSでのみ機能します、IOSでは機能しません。

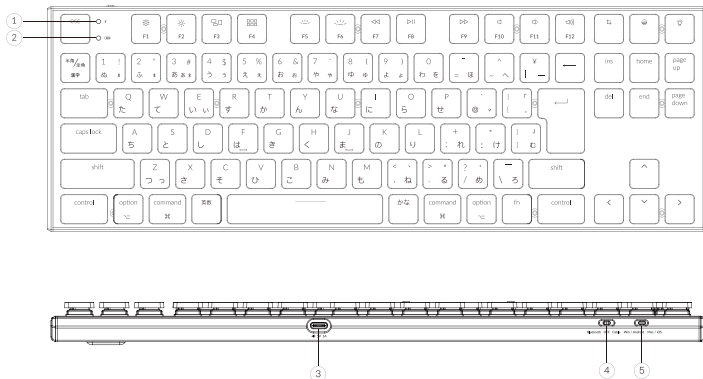


Windows cortanaの場合: スタート→設定を選択します
cortanaを選択し、windowsキー+ cキーを押してショートカットを選択します。

Windows cortanaは特定の国/地域でのみ利用可能であり、動作しない場合があります



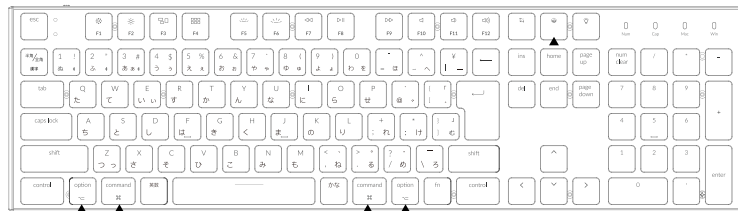
87キーキーボード概要:



- 1.bluetoothインジケーター
- 2.バッテリーインジケーター
- 3.Type-Cポート
- 4.bluetooth/ケーブル接続（モード切り替えボタン）
- 5.Win/Android Mac/iOS（OS切り替えボタン）

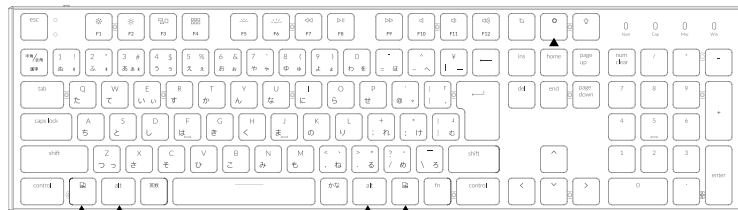
104キーキーボード仕様書:

Mac



Windowsをお使いの方は、付属されたWindows用キーキャップと交換してお使いください。

Windows



”マルチメディアキー数：12

本体材質：アルミ

キーキャップ材質：ABS

バックライト：RGB

バッテリー：2000mAh リチウムイオン充電式バッテリー

作業時間：消灯使用 2 ～ 4 週間（使用状況によって異なります）

/RGB 使用 8 ～ 40 時間（輝度と使用状況によって異なります）

充電時間：約 2 時間（USB 3.0）

充電ポート：USB Type-C

モード：Bluetooth/ 有線

Bluetooth 有効距離：最大 10 メートル（オープンスペース）

Bluetooth デバイス名：K1-Keyboard

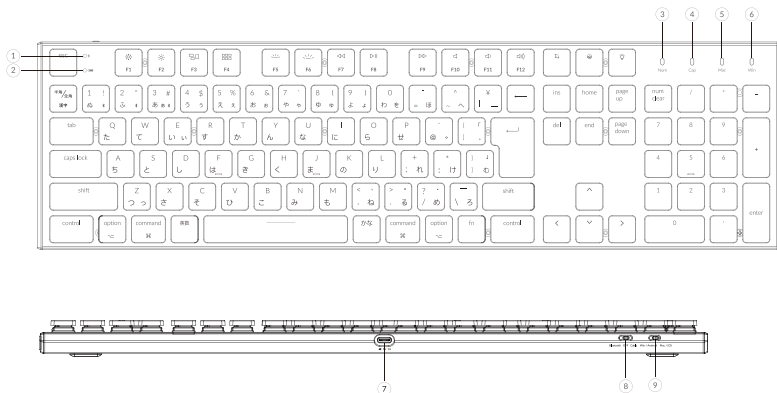
サイズ：(104 キー):435*120*180mm/17.1*4.7*0.7 インチ

重量：約 805g/28.4 オンス

動作環境：-10 ～ 50 度

改良により技術仕様は予告なく変更される場合があります。ご不便をおかけして申し訳ございません。”

104 キーキーボード概要：



- 1.bluetoothインジケーター
- 2.バッテリーインジケーター
- 3.ナンバーロックインジケーター
- 4.caps lockインジケーター
- 5.macOSインジケーター
- 6.Windows OSインジケーター
- 7.Type-Cポート
- 8.bluetooth/ケーブル接続（モード切り替えボタン）
- 5.Win/Android Mac/iOS（OS切り替えボタン）

機能説明:

充電

USBケーブルをポートに差し込み、もう一方をキーボードポートに差し込みます。

充電インジケータ: バッテリーが15%未満になると、充電インジケータが赤く点滅します。

充電時、充電インジケータが赤く点灯します。約2時間で完全充電されると、

充電インジケータが緑色に表示されます。

*K1はすべてのUSBポートと互換性があります。最高のパフォーマンスを得るには5V1AのアダプターとUSB2.0または3.0を使用してください。Bluetoothのモードが on / offでも充電できます。

この製品は最大5Vの充電電圧と1Aの充電電流に対応しております。

不適切な充電によって引き起こされた問題について一切の責任を負いません。

Bluetooth/有線モード (切り替えボタン)

有線モード

1.切り替えボタンをCableに切り替えてください。(USBケーブルが接続されていない場合は無反応になります)

2.ケーブルをデバイスとキーボードに接続してください。

3.バックライトが点灯します。

*有線モードの場合、節電モードにはなりません。

Bluetoothモード

1.切り替えボタンをBluetoothに切り替えてください。

2.バックライトが点灯します。

3.Fn + 1キーを3秒間押ししてBluetoothペアリングをアクティブにします。（ペアリングを検出するためにBluetoothインジケーターが3分間高速点滅します）

4.デバイスからBluetooth「K1-Keyboard」を検索し、接続してください。（ペアリングが成功した場合、Bluetoothインジケーターが点滅します）

注意：このキーボードは組み合わせキー「Fn + 1 / Fn + 2 / Fn + 3」で最大3台のデバイスのペアリングを同時に登録できます。組み合わせキー「Fn + 2 / Fn + 3」を短く押すだけで切り替えられます。

*Bluetoothインジケーターは3分間点滅します。

**Bluetoothのバージョンが異なるため、接続速度が遅い或いは失敗する可能性があります。すべての設定が正しく完了された事を確認してください。

Bluetoothデバイスの切り替え

組み合わせキー「Fn + 2 / Fn + 3」を短く押し、で番号を切り替えます。

再接続：

1.キーボードをBluetoothの位置に切り替えた後にFn + 1キーを3秒間押ししてBluetoothペアリングをアクティブにします（デフォルトではK1は最後に接続したデバイスに接続します）

2.Bluetoothインジケーターが3秒間点滅し、最後に接続したデバイスに接続します。

3.Bluetoothインジケーターが点滅した場合、任意のボタンを押して、再度接続を行ってください。

*この機能を実行するには、K1が既にデバイスとペアリングされている必要があります。

キーボード電源をオフ

「Off」に切替てください。

バッテリー節電モード

Bluetoothモードでは、K1のバックライトは10分間待機になるとオフになります。この自動節電モードを無効にする場合は、4秒間「Fn+S+O」ボタンを押してください。再度自動節電モードを起動したい場合はもう一度「Fn+S+O」を4秒間押してください。

OS切替え

1-MAC/iOS

Mac/iOSに接続されているときは、スイッチをMac / iOSに切り替えます。
マルチメディアキーを使用するには、F1~F12を押してください。

*mac / iosモードでは、 キーはクリアとして使用されます、キーボードのテンキーをロックするために使用することはできません（104キーのK1のみ使用可能）

2-WINDOWS/ANDROID

WindowsまたはAndroidに接続されているときは、スイッチをWindows / Androidに切り替えます。
マルチメディアキーを使用するには、FnとF1~F12を押すだけです。

*windows / androidモードを使用する場合、  キーは「Windows」と「Alt」のファンクションキーとして使用されます。

3入力方法の切替

iOSの場合:

入力方法の切替: Ctrl + Space

caps lock: caps(一般>キーボード>ハードウェア キーボード>caps Lock言語切替)

Androidの場合:

入力方法の切替: Shift + Space

注意: Windows / Android OSの互換性、バージョン、ブランド、ドライバにより、特定のマルチメディアキーの機能が無効になる場合があります。OSを頻繁に切り替えないことをお勧めします。

マルチメディア ファンクションキー

						
macOS		画面の明るさ+	Mission control	Launchpad	バックライト輝度-	バックライト輝度+
iOS	画面の明るさ-	画面の明るさ+	-	-	バックライト輝度-	バックライト輝度+
Windows	画面の明るさ-	画面の明るさ+	-	-	バックライト輝度-	バックライト輝度+
Android	-	+	-	-	バックライト輝度-	バックライト輝度+

						
macOS		再生/一時停止	次の曲	ミュート	ボリュームダウン	ボリュームアップ
iOS	前の曲	再生/一時停止	次の曲	ミュート	ボリュームダウン	ボリュームアップ
Windows	前の曲	再生/一時停止	次の曲	ミュート	ボリュームダウン	ボリュームアップ
Android	前の曲	再生/一時停止	次の曲	ミュート	ボリュームダウン	ボリュームアップ

						
macOS	Insert	Delete	Home	End	スクロールアップ	スクロールダウン
iOS	Insert	Delete	Home	End	スクロールアップ	スクロールダウン
Windows	Insert	Delete	Home	End	スクロールアップ	スクロールダウン
Android	-	-	-	-	-	-

			
macOS	キャプチャ画面	siriを有効にする	cortanaを有効にする
iOS	キャプチャ画面	siriを有効にする	cortanaを有効にする
Windows	-	-	-
Android	-	-	-

- (1) macOSでSiri機能を有効にする必要があります。(Appleアイコン>システム設定> Siri>キーボードショートカット)を有効にし、同時にFN (Function) +スペースキーを押してキーボードショートカットを設定する必要があります。
- (2) Windows OSでCortanaを有効にし、ショートカットを設定する必要があります。
Windows + Cキーを同時に押します (このショートカットはWindowsではデフォルトでオフになっています。オンにするには、「スタート」>「設定」>「Cortana」)
Windows CortanaとWindows Dictationは、Windows 10以降のOSのみ利用できます。OS.cortanaは特定の国/地域のみ利用できます。一部のcortana機能は利用できない場合があります。
- (3) Mac OSでは、マルチメディアキーがデフォルトとして設定されています。Fn+ファンクションキーを押すだけでF1~F12の機能を使用できます。
Windows OSでは、F1~F12の機能がデフォルトとして設定されています。F1~F12キーを押すだけでF1~F12の機能を使用できます。
マルチメディアキー機能を使用する際はFn +ファンクションキーを押します。
Fn + X + Lを同時に4秒間押して、F1~F12の機能とマルチメディアキーの機能を切り替えます。
次にF1~F12機能を使用するにはFnキーを押す必要があります (注: Fn + X + Lの機能はWindows OSでのみ有効です。これはMacOSおよびその他のシステムには適用されません)。

トラブルシューティング

キーボードとデバイスがペアリングできない場合は、ペアリングしようとしているデバイスがBluetooth対応であることを確認してください。
対応の場合はデバイスを再起動し、もう一度キーボードとペアリングしてみてください。

注意: Windowsコンピュータでは、新しいBluetooth接続により、追加のソフトウェアを更新する場合があります。このプロセスは正常に完了したことを示すメッセージが表示された後も継続中の可能性があります。ペアリング後、少なくとも20分待って、すべてのアップデートが完了したことを確認してからコンピュータを再起動してください。

デバイスがBluetooth接続 (Windows) に対応し、外部キーボード (HIDプロファイル) をサポートしていることを確認してください。

Bluetoothデバイス>設定を開き、以下を選択します。
Bluetoothデバイスがコンピュータを検出できるようにする。
Bluetoothデバイスがこのコンピュータに接続できるようにします。
Bluetoothデバイスが接続を要求したときに通知する。

キーボードが動作しない

解決方法:

キーボードを再起動してください。

Bluetoothをオフにしてからコンピュータを再起動してください。(Windows)

デバイスについて、

Bluetooth設定>Bluetoothをオフ>K1キーボードを削除してください。

デバイスを再起動し、最初からbluetooth接続を行ってください。

Bluetooth接続が10メートル以内でも中断されます

キーボードがBluetooth信号を妨害する可能性のある金属付近に置かれているかどうかを確認してください。

サードパーティの入力ツールとの互換性がありません。

Windows / Android OSの互換性、バージョン、バート、ドライバにより、キーボードの使用中にサードパーティの入力ツール機能が影響を受ける場合があります。システムとドライバが最新であることを確認してください。

特定のFnキーまたはマルチメディアキーがWindows / Androidモードで機能しない。

Windows / Android OSの互換性、バージョン、バート、ドライバにより、機能しない場合があります。

安全上の注意：

事故を防ぐために、製品、付属品、および梱包部品を子供の手の届かない場所に保管してください。

腐食を避けるために、製品を乾燥した環境に保管してください。

キーボードとバッテリーの寿命を維持する為には、製品を-10度以下または50度以上の温度環境で使用、保管をしないでください。

コンプライアンスと安全性

米国連邦通信委員会(FCC) 適合宣言

このデバイスは FCC 規則第 15 部に準拠しています。以下の 2 つの条件に従って動作します： (1) このデバイスは有害な電波干渉を発生させることはない、および (2) このデバイスは、誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。

コンプライアンス責任者の許諾を得ることなく本製品に変更または修正を加えると、規則に準拠しなくなり、製品を操作するための許諾が取り消されるおそれがあります。

注意：この装置はテストの結果、クラス B デジタルデバイスの制限に適合し、FCC 規則第15 部に準拠していることが認められました。これらの制限は、住宅への設置によって生じる有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。この装置は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、干渉が生じないことが保証される特別な設置方法はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を現に引き起こしている場合（装置の電源をオン / オフすれば判別できます）、干渉を防止するため以下の 1 つまたは複数の対処方法を試してみることをお勧めします：

受信アンテナの方向または位置を調整する。

当該装置を受信装置から遠くに設置する。

当該装置を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。

販売店または経験豊富な無線 / テレビ技術者に問い合わせる。

この装置は一般的な無線周波数出力要求条件を満たしております。携帯可能な状態で制限されずに使用できます。

Keychron, Inc.
Dover, DE 19901, United States

Find us at:

<https://www.keychron.com>

Support@keychron.com

 @keychron

 @keychron

 @keychronMK

Designed by Keychron

Made in China



K1 Bluetooth Mechanical Keyboard

IN THE BOX:

Keychron K1 Bluetooth Mechanical Keyboard x 1

Type-C Cable * 1

Manual * 1

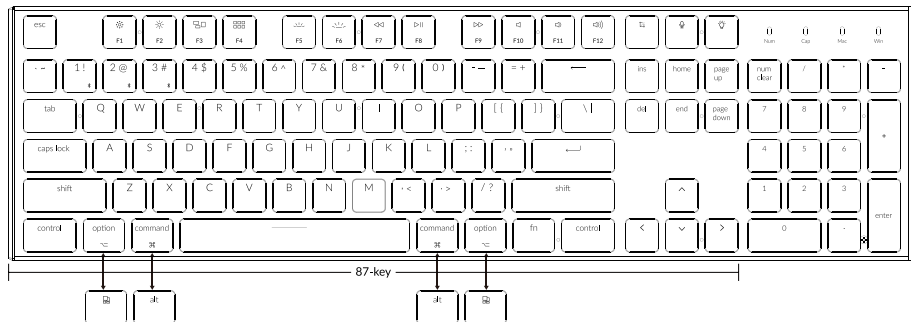
Quick Start Guide * 1

Extra Keycaps Set * 1

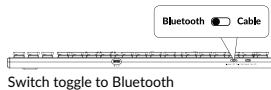
Quick Start Gfide

If you are a Windows user, please find the appropriate keycaps in the box, then follow the instructions below to find and replace the following keycaps.

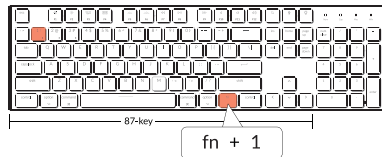
Mac / Windows



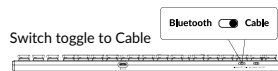
1 Connect Bluetooth



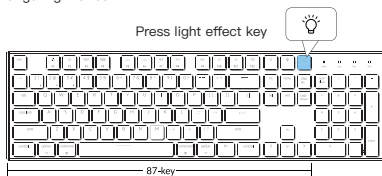
Press fn + 1 (for 4 seconds) and pair with device named Keychron K1



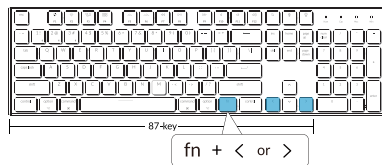
2 Connect Cable



3 Change Light effect

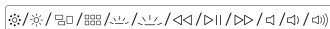
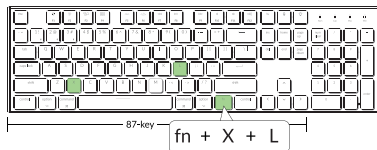


For RGB version – Press fn + right arrow /
left arrow to change color



4 Switch between function and multimedia keys (F1- F12)

For Windows: Press fn + X + L (for 4 seconds) to switch



Multimedia keys

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 Function keys

For Mac: Go to system settings > Keyboard > and enable the function keys.

*For F5 & F6 as function keys press fn + K + C (for 4 seconds) and use same shortcut to switch.



Settings



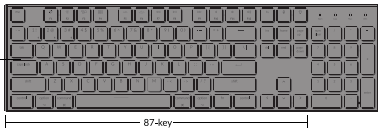
Keyboard



Enable the function keys

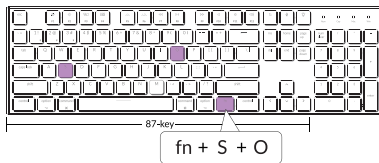
5 Disable Auto Sleep Mode

The keyboard goes to Auto Sleep Mode in 10 minutes of sitting idle to save battery



Press **fn + S + O** (for 4 seconds) to disable the Auto Sleep Mode.

(If you want to go back to the Auto Sleep mode, press **fn + S + O** for 4 seconds again)



6 Remap keys

We don't have an official software to remap the keys yet. But you can use these two software to get the job done.
(Except the light effect key)

For Mac - Karabiner

Karabiner

For Windows - SharpKeys

SharpKeys

6.5

We have a Linux user group on facebook. Please search "Keychron Linux Group" on facebook. So you can better experience with our keyboard.



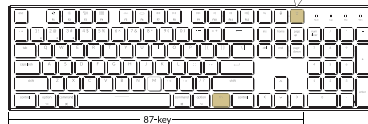
7 Turn Off the Backlight

If you are on the Mac, the default is to press F5 key.
If you are on the Windows, the default is to press fn + F5 key.



Or press the fn + light effect key.

fn + 



8 Activate Siri / Cortana

For Siri on Mac: Go to System preferences> Siri > select "Press Fn (Function) Space" option.

*Siri key only works on MacOS and does not work on iOS.



Settings



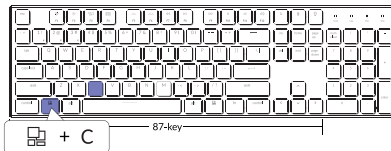
Siri



Press Fn (Function) Space

For Cortana on Windows: Select Start > Settings > Cortana and select the shortcut by pressing Windows key + C key.

*Windows Cortana is only available for Windows 10 and above OS. Cortana is only available in certain countries / regions and might not work everywhere.



K1 BLUETOOTH MECHANICAL KEYBOARD SPECIFICATIONS

Number of keys: 87/104 key

Switch type: Mechanical

Battery: 2000mAh

Working time: Around 35 hours with the backlight on.

Charging time: Around 3 hours

Charging port: USB Type-C

Mode: Bluetooth/Wired

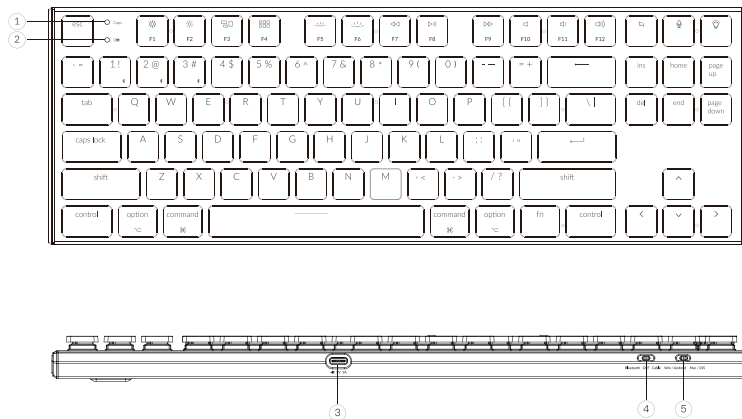
Bluetooth operating distance: Within 10 meters (open space)

Name of Bluetooth device: Keychron K1

Operating Environment: -10 to 50°C

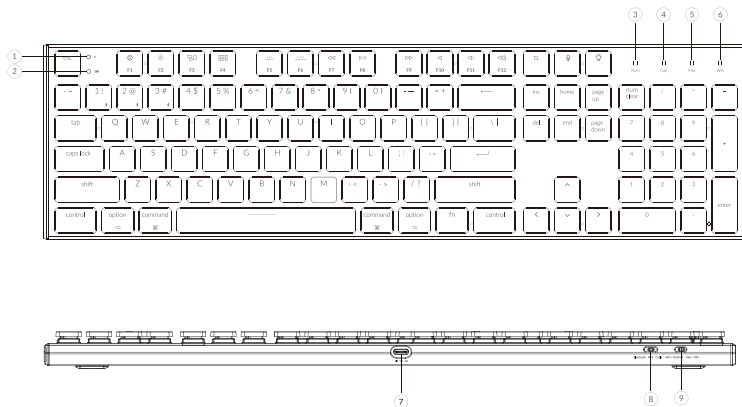
Technical specifications can be subjected to change without notice we apologize for any inconvenience caused

K1 BLUETOOTH MECHANICAL KEYBOARD 87KEY OVERVIEW



1. Caps Lock Indicator
2. Battery Indicator
3. Type-C Port
4. Bluetooth OFF Cable (Mode Toggle Switch)
5. Win/Android Mac/iOS (OS Toggle Switch)

K1 BLUETOOTH MECHANICAL KEYBOARD 104KEY OVERVIEW



1. Bluetooth Indicator
2. Battery Indicator
3. Number Lock Indicator
4. Caps Lock Indicator
5. macOS Indicator

6. Windows OS Indicator
7. Type-C Port
8. Bluetooth OFF Cable (Mode Toggle Switch)
9. Win/Android Mac/iOS (OS Toggle Switch)

LED STATUS OVERVIEW

LED Location	Function	Status
Battery indicator	Charging	Low battery - Blinking Red Charging - Static Red Fully charged - Static Green
Bluetooth indicator	Bluetooth	Pairing - Fast Blinking Paired - Light Off Switching - Slow Blinking

FUNCTION DESCRIPTION: CHARGING

Plug the cable into a USB port and plug the other end into the keyboard port. Charging Indicator: When battery is below 15%, a red battery blinking indicator will be triggered. A red light will stay on while charging; Fully charged in around 3 hours, a green battery indicator will appear.

*The Keychron keyboard is compatible with all USB ports. Please use a 5V 1A adapter or USB 3.0 for the best performance. The Keychron K1 can be charged in Bluetooth/on/off mode.

** This product supports up to 5V charging voltage and 1A charging current. We are not responsible for any problems caused by improper charging.

BLUETOOTH/WIRED MODE (TOGGLE SWITCH)

WIRED MODE

1. Switch the toggle switch to Cable option (it only works when a USB cable is plugged in).
 2. Connect our cable with your PC and keyboard.
 3. Backlit will be turned on.
- *Under Wired Mode, keyboard will not enter into Battery Saver Mode.

BLUETOOTH MODE

1. Switch the keyboard to Bluetooth option.
2. Backlit will be turned on.
3. Hold "Fn+1" key for 4 seconds to activate Bluetooth pairing (the Bluetooth indicator fast flashes for 3 minutes to detect pairing).
4. Search for the Bluetooth device "Keychron K1" on your device and connect it (the Bluetooth indicator goes off after successful pairing).

Note: This keyboard supports pairing up to 3 devices simultaneously via combination key "fn" + "1" / "fn" + "2" / "fn" + "3".

**The Bluetooth indicator will continue to flash for 3 minutes.*

***Slow or failed connections may exist due to different Bluetooth versions, please make sure all the settings are correct.*

SWITCH BLUETOOTH DEVICES

Short press combination key "fn" + "1" / "fn" + "2" / "fn" + "3" to switch to other device.

RECONNECT:

1. Switch the keyboard to the Bluetooth option to activate the keyboard (the keyboard will connect to the last connected device by default).
 2. The Bluetooth indicator flashes for 4 seconds and automatically pairs with the last paired device.
 3. If the Bluetooth indicator is off, press any button to enter the connection again.
- * The keyboard must have been paired with the device to perform this function.

TURN OFF THE KEYBOARD

Switch to "Off"

BATTERY SAVER

Under Bluetooth mode, the keyboard backlight turns off when it is inactive for 10 minutes. Tap any button to wake the keyboard. If want to disable this auto battery save mode, press fn+S+O for 4 seconds. Then if want to enter this power save mode again, press fn+S+O for 4 seconds.

BACKLIT SETTING

- Short press  to switch between different types of lighting effects.
- When backlit is on, press  button to switch among them. Short press fn and  or fn and  to adjust light colors. (For RGB version only)

OS SWITCH

1- MAC/iOS

Turn the switch to Mac/iOS when you are connected to a Mac or iOS operating system.

2-WINDOWS/ANDROID

Switch the toggle to Windows/Android when the keyboard is connected to a Windows or Android operating system.

**When using the Windows/Android mode,   keys are used for “Windows” and “Alt” functions.*

3-INPUT METHOD SWITCH

For iOS:

Input method switch: Ctrl + Space

Caps Lock: Caps (Enable General>Keyboards>Hardware Keyboard>Caps Lock Language Switch)

For Android:

Input method switch: Shift + Space

NOTE: Functions of certain multimedia key may be disabled due to compatibility, versions, brands and drivers of Windows/Android OS. We also recommend not to switch OS frequently as it may impact keyboard operations.

TROUBLESHOOTING

If unable to pair keyboard to device, confirm that the device you're trying to pair with is Bluetooth-capable. If so, restart the device and try pairing it with the keyboard again.

Note: On a Windows computer, a new Bluetooth connection will sometimes require additional software updates—a process that may still be ongoing after a message appears indicating a successful completion. Wait at least 20 minutes after pairing to make sure all updates are completed before restarting the computer.

Confirm that the device is configured to accept Bluetooth connections (Windows) and supports an external keyboard (HID profile).

Go to Bluetooth Devices > Open Settings and select the following:

Allow Bluetooth devices to find this computer

Allow Bluetooth devices to connect to this computer

Alert me when a Bluetooth device wants to connect

My keyboard isn't working.

For the keyboard: Turn the keyboard off and back on.

Turn Bluetooth off and restart the computer. (Windows)

For the device:

Go to Bluetooth settings and turn off Bluetooth and “forget” the keyboard.

Restart the device and turn on Bluetooth to reconnect.

Bluetooth connection is interrupted even within 10 meter.

Check if the keyboard is resting on a metal surface that can interfere with the Bluetooth signal.

Third party input tools are not compatible with the keyboard.

Due to compatibility, versions, brands and drivers of Windows/Android OS, functions of third party input tools may be affected while using the keyboard. Please make sure your operating system and drivers are up to date.

Certain fn keys or multimedia keys does not work under Windows/Android mode.

Functions of certain multimedia keys may be disabled due to compatibility, versions, brands and drivers of Windows/Android OS.

Safety Precaution:

Keep the product, accessories and packaging parts out of reach of children to prevent any accidents and choking hazards.

Always keep the product dry to avoid corrosion.

Do not expose the product to extreme temperatures below -10°C (5°F) or above 50°C (131°F) to preserve the lifespan of the keyboard and battery.

COMPLIANCE AND SAFETY

FCC DECLARATION OF CONFORMANCE

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and receiver.
- Plug the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is currently using.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirements. The device can be used in portable exposure condition without restriction.

Keychron, Inc.
Dover, DE 19901, United States

Find us at:

<https://www.keychron.com>

Support@keychron.com

 @keychron

 @keychron

 @keychronMK

Designed by Keychron

Made in China